

# イオンエンジンは4台とも正常 「はやぶさ2」万全の状態です飛行中



イオンエンジンの24時間連続自律運転を達成した瞬間の管制室

1月28日現在、「はやぶさ2」は地球から2200万キロ、通信で往復約2分半のところにいる

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、小惑星探査機「はやぶさ2」の現在の状況について発表しました。

この記者会見には、「はやぶさ2」國中プロジェクトマネージャと吉川ミッションマネージャが出席し、「万全な状態にある」と時折笑顔を見せながら和やかに進行しました。

「はやぶさ2」は、打ち上げから約2カ月間、初期機能確認期間として搭載機器に順番にスイッチを入れて機能確認を進めています。今後は、約1ヶ月間機能確認を行い、その後、3月をめどに「巡航運転フェーズ<sup>\*</sup>

※イオンエンジン噴射による加速と軌道制御を行い、小惑星に向けた本格的な航行運転を行うモード

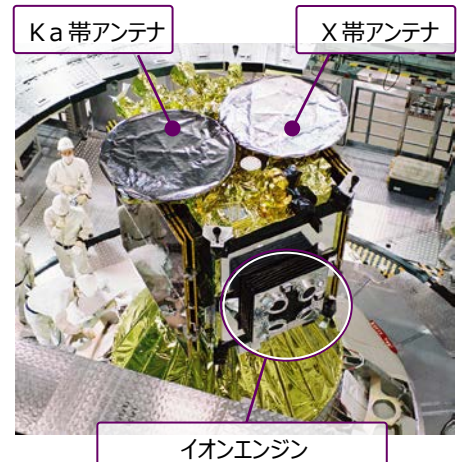
## 現在の詳細な運用状況

### ★イオンエンジン

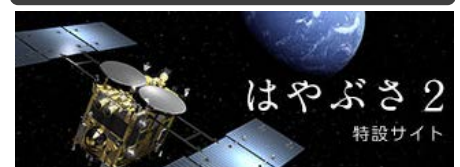
「はやぶさ2」の旅に不可欠なメインエンジン。「はやぶさ」の技術を受け継ぎ、さらにパワーアップした。打ち上げ直後にきちんと動くことを確認済みで、今回は1台ずつ・2台同時+24時間連続自律運転・3台同時での運転をそれぞれ達成したことを確認した。

### ★Ka帯通信の実証

日本の探査機として初の搭載。「はやぶさ」の8ギガヘルツに対して「はやぶさ2」は32ギガヘルツ、つまり4倍の情報を地球で受け取ることが可能。大量のデータを地球に送ることが確実になり、探査対象の解析に期待できるようになった。國中PM曰く「大変な朗報です！」(現在、日本には深宇宙用Ka帯受信アンテナがないため、NASAの協力が必須)



さらに詳しく知りたい方はコチラ



ファン！ファン！JAXA「はやぶさ2」特設サイト  
[fanfun.jaxa.jp/countdown/hayabusa2/index.html](http://fanfun.jaxa.jp/countdown/hayabusa2/index.html)

Spacei 宇宙かわら版 2015年2月4日号

問い合わせ先：Spacei事務局（一般財団法人日本宇宙フォーラム）

ホームページ：<http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ：[https://www.science-event.jp/event/spacei\\_contact/](https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/)

※特に断りのない限り日付は日本時間です。画像の出典：JAXA

Spacei